

表紙のことは

石崎 洋二「秋がいっぱい」

秋は、楽しいこと、美味しいものがいっぱい。

秋の料理といえば、まず、さんまの塩焼き、そしてあれこれと次々に頭に浮かんでくるので、それをそのまま絵に描いたそうです。その他には秋祭り、縁日、ハロウィン、秋の果物、お菓子等、もっとあったようです。

子どものころ、自閉的傾向があるとの判定だったので、いろいろなことを体験させ、人とかかわりをたくさんもたせ、自力で行動できることを育児方針としてきました。一人で行動させるのはリスクが高いので、本人の自由に任せつつ、常に緊張して見守っています。

絵を描くこと以外では、料理、パン、菓子づくり、水泳、スキー、鉄道マニア、旅行、歴史や地理の勉強等、好奇心が旺盛で、これらの知識や経験から発想を得て、きれいで面白い絵を楽しく描いています。(母)



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



きずな就労体験紙すきグループ「きずな」

開始時から試作品づくりを行い、いよいよ販売するハガキがつかれるようになってきました。しかし、コロナ禍でセンター内でのイベントが中止になり、販売・披露する機会を失ってしまいました。それでも、何か機会がないかを皆で相談した結果、今回、表紙作品に応募することにしました。出来上がりの作品を皆で囲みながら、「ピンクのがええわ」、「たのしかった」、「もっとつくりたい」、「手をたくさん使ってできました」、「(継続して参加したいですか?) はい」等、たくさんの感想を共有しました。

(担当 OT: 田中)